

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 23 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/23 11:00 時点)

| 号機   | 注水状況      |                                 | 原子炉压力容器<br>下部温度 | 原子炉格納容器<br>圧力*1 | 原子炉格納容器<br>水素濃度 |
|------|-----------|---------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h | 16.2 °C         | 106.6 kPa abs   | A系： 0.06 vol%   |
|      |           | 給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h     |                 |                 | B系： 0.04 vol%   |
| 2 号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心スプレイ系：約 2.3 m <sup>3</sup> /h | 25.5 °C         | 6.19 kPa g      | A系： 0.06 vol%   |
|      |           | 給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h     |                 |                 | B系： 0.04 vol%   |
| 3 号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心スプレイ系：約 0.0 m <sup>3</sup> /h | 22.9 °C         | 0.22 kPa g      | A系： 0.09 vol%   |
|      |           | 給水系：約 5.5 m <sup>3</sup> /h     |                 |                 | B系： 0.08 vol%   |

\*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/23 11:00 時点)

| 号機   | 冷却方法     | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|------|----------|------|-------------|
| 1 号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 10.5 °C     |
| 2 号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 9.8 °C      |
| 3 号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 8.2 °C      |
| 4 号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 14.8 °C     |

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・ H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

| 号機    | 排出元 → | 移送先 | 移送状況 |
|-------|-------|-----|------|
| 移送停止中 |       |     |      |

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/22 11:00 時点)

| 設備       | セシウム<br>吸着装置 | 第二セシウム<br>吸着装置<br>(サリー) | 除染装置 | 淡水化装置<br>(逆浸透膜)  | 淡水化装置<br>(蒸発濃縮)  | 多核種除去設備<br>(ALPS) |
|----------|--------------|-------------------------|------|------------------|------------------|-------------------|
| 運転<br>状況 | 停止中          | 運転中*1                   | 停止中  | 水バランスを<br>みて断続運転 | 水バランスを<br>みて断続運転 | ホット試験中*2          |

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

・ B系：平成 26 年 1 月下旬頃（予定）に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

・ H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・ H26/1/7 多核種除去設備 B系において、H I C 交換作業中にクレーンに不具合が発生したことから、H I C 交換作業を中断。その後、1/9 に当該クレーンの走行モータ 4 台の内、1 台に異常を確認。当該クレーンについては、異常が確認されたモータを含む 2 台を除外した状態で走行できることを確認したことから、各系統の H I C 交換作業を順次行い、処理運転に移行している。

H26/1/23 13:40 多核種除去設備の H I C 交換作業用クレーンにおいて異常を確認した走行モータの取替えを終了し、当該クレーンは 4 台の走行モータによる運転に復帰。

・ 1/24～ 多核種除去設備の除去性能向上策の検証のため、A系においてインプラント通水試験を開始予定。試験期間は約 1 ヶ月を予定。

## < 5. その他 >

- ・1/23 13:50 頃 構内の企業棟脇に仮置きしていた重機から滴下した油をパトロール中の当社社員が発見した。漏えい範囲はアスファルト上に約 50cm×約 50cm であり、現在、油の滴下は止まっている。なお、本件については、14:55、双葉消防本部へ連絡している。

### 【H4 エリアタンク等からの水の漏えい関連】

#### <トピックス>

- ・ H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4 エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

#### <タンクエリアパトロール実績 (1/22) >

- ・ 高線量当量率箇所 ( $\beta + \gamma$  線 (70  $\mu$  m 線量当量率)) は確認されず。
- ・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・ 目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと (漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く) を確認。
- ・ 汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

#### <H4 エリア周辺のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

#### <トピックス>

- ・ 1, 2 号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット (南) 地下水から立坑Cおよび 2 号機タービン建屋への移送量は 1/23 0:00 時点で約 7, 338m<sup>3</sup> \*集水ピット (南) およびウェルポイントの総量

#### <地下水観測孔サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <移送関係>

- ・ 2, 3 号機東側に設置したウェルポイント (バキュームによる強制的な排水設備) からの地下水汲み上げおよび 2 号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・ H25/12/11～ 1, 2 号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

#### <トピックス>

- ・ H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・ H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- ・ H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/12/7～ 地下貯水槽 No. 2 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/12/16～ 地下貯水槽 No. 7 において浮き上がり対策を実施中。

#### <地下貯水槽サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上